**京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会　議事要旨**

1. 開催日時　平成23年10月13日（木曜日）午後２時から午後４時まで
2. 場所 京都平安ホテル　白河の間
3. 出席者

【部会委員】 郡嶌部会長、奥原委員、栗田委員、酒井委員、寺島委員、長畑委員、星川委員、山口委員、山田委員（計９名）

※上記のうち、次の委員は代理出席

奥原委員（代理:外池京都商工会議所課長）

　　　 　　　　　星川委員（代理：長谷川京都市環境政策局循環型社会推進部長）

【事務局】 石野環境政策監、伊藤環境技術専門監、越智循環型社会推進課長、佐藤参事、その他関係職員

【傍聴者】 ２名

1. 議　題
2. 審議事項
3. 現計画の評価について
4. 次期計画の構成等について

（２）その他

1. 議事概要＜主な意見＞
2. 審議事項
3. 現計画の評価について

事務局から、現計画の評価を行うため、京都府廃棄物実態調査結果等につ

いて説明を行った。

* 循環型社会という観点からは廃棄物以外の指標も含めたほうがよい。産業廃棄物については、長期的なトレンドでの把握にシフトすべきである。また、現計画で減量された手段を把握し、今後の策定方針を立てるべきである。

1. 次期計画の構成等について

事務局から、次期計画の構成案について説明を行った。

* 循環型社会形成計画として、取組目標を設定すべきである。
* 計画では、府民や企業にわかりやすく各施策の縦のつながりを明らかにし、併せて施策ごとの優先順位を付け、企業がモチベーションをもって取り組めるような計画としてほしい。

* 広域化については、技術的、財政的な制約が変化する中で、府としてどのような方向に誘導していくのか検討してほしい。